



学校法人志賀学園
認定こども園 平第一幼稚園
令和7年1月31日

大寒の候、保護者の皆様には日頃よりこども園へのご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。
新年が明け、早くも1か月が経とうとしております。1月はお正月遊びだけでなく、すみれ組とさくら組さんではなわとび大会やさくら組ではカルタ取り大会があったりと多くの行事がありました。子どもたちも遊びの中でルールを知り、少しずつ覚えて楽しみを見出す子、ご家庭での経験からわからないお友だちに優しく教えてあげる子など、1つの遊びでも様々な関わりの様子が見られました。

さて、今週の2月2日(日)は節分です。こども園では一足早めの節分を本日行いました。日曜日など園がお休みの際に行事がある時には日を過ぎるよりも早めに行う方が良いということを神社の宮司さんよりお話をいただき本日は行わせていただきました。

【節分とは？】

節分とはその名の通り、「季節の分かれ目」を意味し、本来、節分は年4回(春・夏・秋・冬)あります。旧暦では、春が1年の始まりとされていたので、立春の先日である節分は大晦日のように考えられていました。季節の変わり目に起きやすい体調不良(邪気=鬼)を払って無病息災を祈り、「鬼は外、福は内」を掛け声を出し、福を呼び込むための行事が節分になります。子どもたちに分かりやすいように自分の心の中にいる鬼を豆をまいて退治しようということでこども園でも節分に因んで豆まきを行っています。

【なぜ豆をまくの？】

豆まきは「魔滅(まめ)＝魔を滅する」とされ、邪気や災厄の象徴である鬼を払います。豆まきには炒り大豆を用い、落ちた豆から目が出ないようにします。また、古くから豆は神聖な食べ物で神力が宿るとされています。

※消費者庁では、節分の豆など硬くて、かみ砕く必要のある食品は5歳以下の子どもには食べさせないよう注意喚起が出ているため、食べさせないでください。ご家庭でもご協力お願い致します。

【恵方巻はなぜ食べるのか？】今年の恵方は、西南西です。

「恵方巻」とは、節分の夜に食べる縁起物の太巻きのことです。

暦の上で春を迎える節分に日に、1年の災いを払う厄落としや商売繁盛を願う意味で太巻きをその年の恵方(吉方)に向かって丸かじりするのが習わしとされています。恵方とは、その年の福德を司る歳徳神(としとくじん)のいる方で、その方角に向かって物事を行えば、何事も吉と言われています。

【なぜ鯛(いわし)と柊(ひいらぎ)を飾るの？】

節分には、「魔除け」として、家の玄関に葉の付いた柊(ひいらぎ)に鯛の頭を指したものを飾ります。鬼の嫌いな鯛の臭いと、とげとげした柊の葉で鬼の目を指し、鬼(=邪気)が家に入るのを防ぐ意味合いがあります。

「3歳児の特性」【自己発揮期】

3学期に入り、自分でできることが増え、自信がついたことで、遊びや活動に意欲が高まっている子どもたちです。

子どもたちが自分たちの好きなことを見つけて思う存分楽しめるよう先生たちも遊びの準備をしています。お正月遊びでもカルタ取りや凧揚げ、福笑いなど道具を年齢にで扱いやすいものにすると夢中になって遊ぶ姿が見られました。また、さくら組やすみれ組のお友だちが楽しんでいる様子も刺激になり、どんな遊びなのかと興味津々に楽しんでいました。

こういった姿が見られる一方で、興味の範囲が広がったことで意欲が高まり時には危険な行動(例:高い所に上る、物を投げる、お友だちに手が出る等)に繋がる場合もあります。まだ善悪の区別が難しいことや感情が高まり咄嗟にしてしまうこともあるので、園では、その子の気持ちに寄り添いながら関わり、援助をしています。

保護者の皆様もご心配になり、ついどういった状況だったのか、どうしてやってしまったのかなど問いかけたいこともあるかと思いますが、その瞬間に伝えることでその行為の意味を知るきっかけとなります。また、時間が経つほど、記憶も曖昧になってしまい、正確な返答ができないことも多くあり、周囲を気にしすぎてしまい、子どもたちの意欲の低下にも繋がってしまうこともあるため、ご家庭でお話される場合には、まず気持ちを受け止め関わっていただけると幸いです。